



地域に根付いた
野球チームが誕生！

6月10日(金)、田辺スポーツパークで和歌山県を拠点としたプロ野球独立リーグ球団「和歌山ファイティングバーズ」の設立記者会見が行われました。



開館から4年4か月で達成

6月1日(水)、たなべるの来館者数が100万人を突破。100万人目となった新庄町の田上享子さんには、花束などの記念品が贈られました。



被災地のために職員を派遣

5月26日(水)、熊本地震による家屋被害認定業務を支援するため、熊本県に派遣されていた税務課の柴田真吉さんが、市長へ派遣時の報告を行いました。



田辺市の記念品を贈呈

5月29日(日)、田辺市観光センターへの来館者20万人となり、達成者のアメリカのトーマス・ストリクターさん(右)に、記念品が手渡しされました。



みんなで環境保全活動！

6月4日(土)に田辺湾クリーン作戦が、5日(日)に大塔クリーン作戦が行われ、多くの皆様のご協力で両日合わせて9000kgを超えるごみが回収されました。



地域社会の発展と
学術振興のために

6月1日(水)、和歌山大学と本市との連携協力に関する包括協定の締結式が執り行われ、相互の発展に向けた更なる連携が図られることとなりました。



リオデジャネイロへ向けて

6月14日(水)～18日(日)の5日間、田辺スポーツパークでリオデジャネイロパラリンピック陸上競技の日本代表候補選手の強化合宿が行われました。

15日(火)には公開練習、交流事業、歓迎セレモニー等があり、交流事業には明洋中学校陸上競技部の生徒たちが参加。競技の指導や選手との交流、選手と生徒たちによる400mリレー対決が行われました。リレー対決では生徒たちが樋口政幸選手(T54クラス 800m)に見事勝利。会場全体が沸く結果となりました。生徒たちは「義足のことはあまり知らなかったが、知ることができた」「競技用の車椅子に乗ってみたいが、難しそう」と話していました。



梅の豊作と産地繁栄を願い
各地でPR

梅の日の6月6日(日)、各地で行事が行われました。

東京の中央卸売市場では、本場の梅の味を市場関係者に確かめてもらうために、試食や試飲のできる和歌山フェアを開催。千代田区の首相官邸では、市長らが安倍首相を表敬訪問し、梅干しなどを贈呈しました。また、京都の下鴨神社や上賀茂神社では、平安時代に梅を献上したとのいわれにちなみ、梅道中を再現しながら紀州南高梅の奉納を行いました。さらに地元では、熊野本宮大社で梅の日の記念式典として梅漬神事が執り行われるなど、各地で今年の梅の豊作と産地繁栄を祈りました。